

## 2025 滋賀国民スポーツ大会 選手選考について

### 1. 参加人員（国スポ参加規定より抜粋）

(1) 監督 2名、選手 29名（男子選手 19名以内、女子選手 19名以内）計 31名以内で編成する。

#### (2) 出場制限

ア 1種目 1名、同一人の出場は 2種目までとする。ただし、リレーは除く。

イ 都道府県主催の予選会に出場しなかった種目には出場できない。ただし、1種目の予選のみに出場し、その種目の代表となった者は、予選に出場しなかった他の1種目にも出場できる。

ウ 4×100mリレーの編成は、男女とも成年、少年A、少年Bから各 1名、残りの 1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別から選出するものとし、計 8名以内で申し込むこと。

エ 男女混合 4×400mリレーの編成は男女 2名ずつとし、合計 8名以内で申し込むこと。男女とも少年Aもしくは少年Bから各 1名、残りの男女各 1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別とする。なお、走順は男子一女子一男子一女子とする。

オ リレーに出場する者は、予選会のどの種目であっても参加していれば出場できる。

カ 成年女子 10000m競歩の出場者は、5000m競歩の予選会を経た者でもよい。少年男子 A5000m競歩、少年女子 A5000m競歩の出場者は、10000m競歩または3000m競歩、いずれかの予選会を経た者でもよい。

キ 成年男子 3000m障害には、少年男子からもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年男子または少年男子、いずれかの 1名のみとする。

ク 成年女子走高跳には、少年女子からもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子または少年女子、いずれかの 1名のみとする。

ケ 成年女子棒高跳には、少年女子からもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子または少年女子、いずれかの 1名のみとする。

コ 少年男子 B3000mの出場者は、1500mの予選会を経た者でもよい。

サ 成年男子 300m・少年男子 A300m・成年女子 300m・少年女子 A300mの出場者は、100m、200m、400mいずれかの予選会を経た者でもよい。

シ 少年男子 A300mハードル及び少年女子 A300mハードルの出場者は、200m、300m、400m、110mハードル/100mハードル、400mハードルいずれかの予選会を経た者でもよい。

※当該種目の公認記録がない場合は、資格記録なしとして番組編成を行う。

※リレーの番組編成について、男子 4×100mリレーは前年の天皇杯の点数から皇后杯の点数を引いた順位、女子 4×100mリレーは前年の皇后杯順位、男女混合リレーは前年の天皇杯順位をもとに番組編成を行う。

## 2. 選手選考について

### (1) 参加資格取得競技会

県記録会・南日本中学・県高校総体・通信陸上・県選手権・県中学総体

ただし、JOCトップアスリートなどの国スポ参加資格の特別措置対象者は選考の対象とする。

### (2) 選考基準

選考においては、2025年4月1日からの記録を有効とし、国スポ資格取得競技会の成績と、国スポ標準記録・ランキング等を参考に、県選手団が好成績を残せるよう総合的に判断し選考する。

※成年の部は、日本選手権・各グランプリ・実業団大会・学生選手権・日本ランキング上位者などを中心に、ふるさと制度も活用し選考する。

※少年A・少年共通種目については、全国高校総体・南九州地区予選会・県高校総体の結果を重要視する。同一種目において候補者が複数名いる場合は、全国高校総体の結果を最重要視する。

※少年B種目においては、国スポ参加資格取得競技会の結果をもとに選考する。

### (3) 選考

8月上旬の鹿児島陸上競技協会の常務理事会で候補選手を内定する。

(8月下旬に鹿児島陸上競技協会ホームページに掲載する)

正式には鹿児島県スポーツ協会の資格審査を経て、9月上旬に鹿児島県代表選手に決定する。